

暇 都 都 第 2 7 2 4 号

令 和 0 6 年 0 1 月 2 6 日

国土交通大臣 殿

四條暇市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和06年01月26日 付け 暇都都第2724号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月26日

計画の名称	四條畷市狭あい道路拡幅整備促進計画													
計画の期間	令和 0 6 年度 ~ 令和 1 0 年度 (5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	四條畷市													
計画の目標	四條畷市において補助対象となる狭あい道路の現況距離が約65.4キロメートルあり R2 年度からR4 年度までの実績値から、 1 年あたりの42条 2 項道路及び同法第43 条第2項第2 号 項道路に接する確認申請の接道長さを 3 1 1 mとし 事業期間中に提出される42条 2 項道路及び同法第43 条第2項第2 号 項道路に接する確認申請の接道長さの合計 1 5 5 5 mを整備対象距離とする。 そのうち、 2 6 0 m (1 6 . 7 %) を整備目標とし、建築主等に働きかける													
全体事業費 (百万円)	合計 (A + B + C + D)		23	A	23	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		2024		2028
1	事業期間中に提出される42条 2 項道路及び同法第43 条第2項第2 号 項道路に接する確認申請の接道長さ1555mのうち260mを整備目標とする			
	年間に行われる確認申請の接道長さを 3 1 1 mとし、事業期間中に提出 される確認申請の接道長さ の合計 1 5 5 5 mを整備対象距離とする。そのうち、 2 6 0 m (1 6 . 7 %) を整備目標 260 / (311 * 5) = 0.167	0%	%	17%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	四條畷市	間接	民間	-	-	四條畷市狭あい道路拡幅 整備促進計画	地域にとって重要な通り抜け 道路を重点的に整備する	四條畷市	■	■	■	■	■	23		策定済	
												小計						23		
												合計						23		

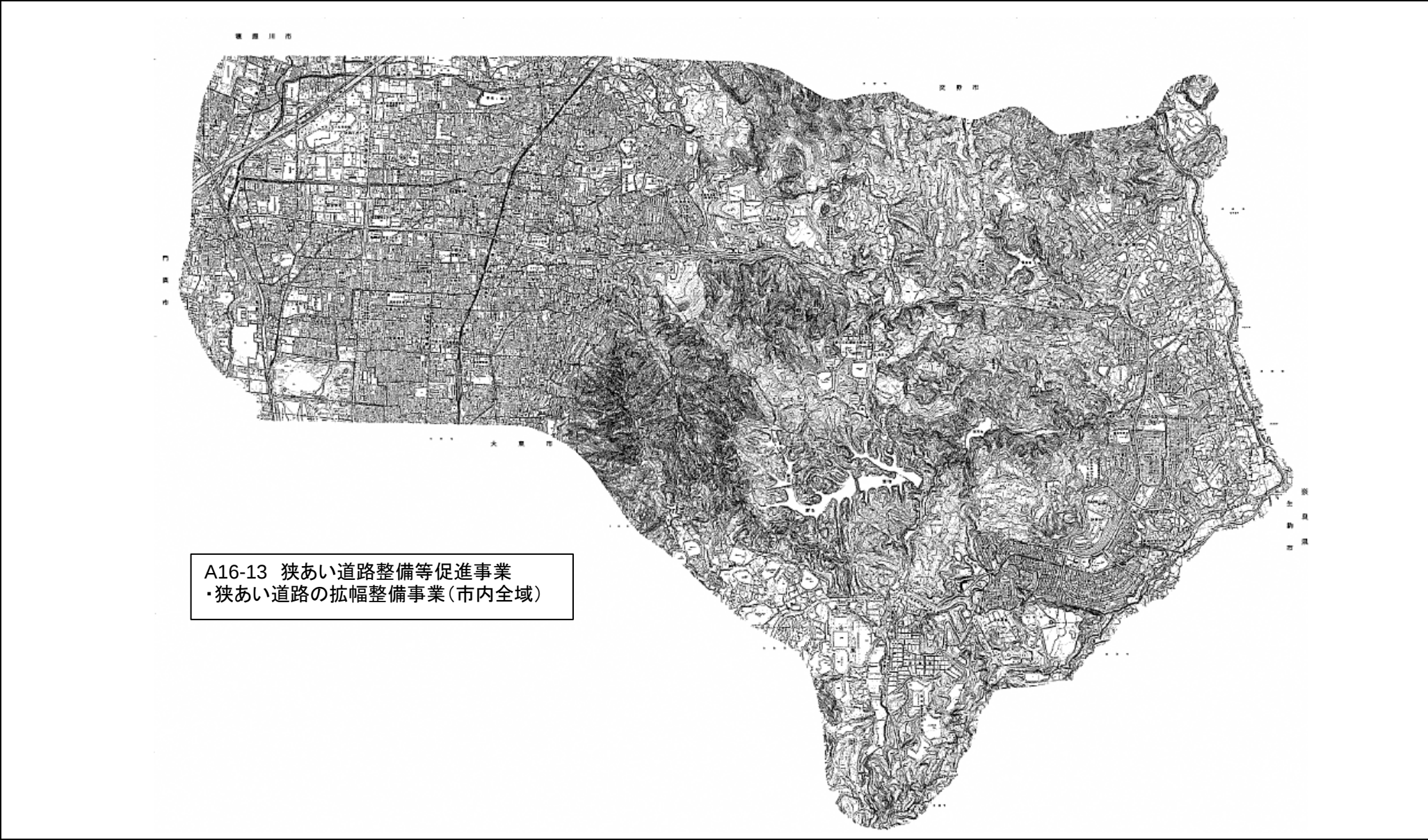
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	四條畷市狭あい道路拡幅整備促進計画
計画の期間	令和 6 年度～令和 10 年度（5 年間）



事前評価チェックシート

計画の名称： 四條畷市狭あい道路拡幅整備促進計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	